



税と私たちの未来

大田区立大森第六中学校 三年 福田 優芽

税というと、私からしたらとても難しく、遠い存在でした。ですが先日の租税教室や、そこから興味を持ち情報集めをしてみて、税は私たちの生活に必要不可欠なものであり、納めるべきものなのだと実感しました。そこで私が考えたことを書きたいと思います。

まず私自身と税の関わりについてです。私は、一日の生活で考えてみました。はじめに朝起床して顔を洗った際、その大切なお水は水道から来ていて、その整備で「税金」が使われています。そして学校へ。通学路では、道路や信号が「税金」でつくられており、安全に暮らすための工夫がされています。また私たちに一番関わっているといえる、学校。建設はもちろん、机、椅子、教科書などは未来を担う子供たちの為「税金」によって配られています。放課後には部活動。私は陸上部に所属しています。でもよく大会で使う競技場にも使われているなんて知りませんでした。家に帰り夕食。安全な食品をつくるための農業、漁業の支援にも「税金」は重要な役割を果たしています。このように、様々な場面で「税金」は役立てられているのです。

ですが先程紹介した事柄は、今の生活を豊かにしているのであって、

未来への画期的なものとは思えません。そこで詳しく調べると地域経済の発展の為、SDGs助成金や安心安全なまちづくりの推進に使われていて、未来社会を成り立たせるようなものも多くあると分かりました。これらから、今の生活に感謝するだけでなく、未来を担える体制をつくらなければいけないと感じます。

私が税について考えてみて、心に残ったものがあります。それは、「税は公平に集め有効に使う、みんなのために、みんなの幸せのために、みんなで出し合う」というものです。生きていく上で税が必要不可欠なのは理解できましたが、その受けてきた恩恵を、しっかりと返さなければならぬと思います。自分が今幸せだからいいや、ではなく、私たちの後の社会を充実したものにするためにも、税を納めることは必要になってきます。世界で教育を受けられていない子供がいる中、今の日本は幸せなのだ改めて思わされると同時に、税を有効に使っていかないとけないと感じました。今ある問題を解決したり、将来の私たちの生活をよりよいものにし、その先の未来のために、みんなが税を納める社会づくりをしていきたいです。その為に、まずは一人の人として税を納めたいと思います。